

学 校 教 育 計 画

教育方針		(1)自ら学び、考え、行動する意欲や能力を育てる。 (2)夢や理想に向かってチャレンジする精神や態度を育てる。 (3)自然との共生について認識を育てるとともに、伝統文化を理解し尊重する豊かな知性や教養を育てる。	(4)社会の担い手としての、望ましい勤労観・職業観や社会奉仕の精神を育てる。 (5)ひとり一人の個性を磨き、豊かな道徳性やたくましい精神力・体力を育てる。 (評価:目標達成率:80%以上達成 50%未満× その他)				
前年度の成果と課題		本年度の重点目標		具体的目標	全体評価		
<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣のできていない生徒や学習意欲に欠ける生徒が増え、保護者と連携を取りながら丁寧な指導を行ってきた。指導に手間がかかったものの着実な成果が得られた。 生徒数職員数が増え部活動や学校行事等いろいろな部門で活性化している。 		<ul style="list-style-type: none"> 多工の伝統を継承した多高の指導体制を確立する。 組織を充実させ研究指定を推進する。 地域との連携も含め、TAKOUかわら版、ホームページ等を利用した地域への情報発信を充実させる。 実習船香川丸の多高版運行計画を策定する。 職員の規範意識の高揚と授業内容の充実を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> 教育課程・特別活動・生徒指導の充実。 基礎学力の向上と部活動の入部率を向上させ資格取得を奨励する。 学力の把握に関する研究指定環境や地域貢献をキーワードに研究指定校事業を推進する。 現職教育や授業公開の充実嫉視を図る。 			
評価項目	本年度の主な活動目標		主な具体的方策		評価	次年度の主な課題	
教科指導	普通科	国語	文章から要旨を的確に読み取りまとめる能力の育成	辞書を多用し、読み取る能力の育成			
		地歴	高校生・社会人として必要な基礎知識の定着	授業やテストを通して基礎学力の定着を図る			
		数学	数学的活動を通して数学への興味関心の高揚をはかる	提出物の徹底を図り、添削指導の実施			
		理科	自然科学の基本的な概念や原理・法則を理解させる	教材の精選と指導内容の充実深化			
		保体	実践を通して技能を高め運動の楽しさを体験する	実践を通してできる喜びを理解させ体力向上へ繋げる			
		芸術	書道	書道・生徒の個性を生かし基礎基本を重視した学習活動を行う	書道の基本の定着を図り、書写から書道への円滑な移行		
			美術	美術・創作の原点はデッサンにあり、制作の積み重ねにより成就感を	資料を充実させ生徒が製作活動に興味を持てるようにする		
		英語	文法事項を中心に基礎学力の定着を図る	提出物や宿題を多く課し、基礎学力の定着			
		家庭	内容の精選と家庭生活に必要な基礎基本の定着	生徒の実態に即した資料やビデオ教材を利用			
		専門科	機械	生徒の能力を引き出す指導法の確立	生徒からの授業評価の参考に指導方法の確立		
電気	基礎教科に力を入れ2年次の資格試験に全員挑戦させる		電気に関する資格に挑戦させ自信を持たせる				
土木	基礎学力の向上と実践的な指導		最新の土木技術を紹介し、きめ細かな指導の徹底				
建築	興味を持ち自主的に学習できるよう基礎基本の充実		各種のテストに対し、各自の目標を設定				
技術	実践を通して地域に貢献できる健全な人材の育成		基本的な生活習慣の確立とわかる授業の実施				
生産	基礎科目に力を入れ学習への意欲の向上		わかる授業を展開し、意識付けに全員検定試験を受験				
学校行事	全学年揃っての学校行事の調整と実施		香川丸、水産科を組み入れた行事の精選と実施				
生徒指導	保護者との連携、職員一丸で指導体制の継続整備		指導方針に関し保護者と共通理解を図り指導				
	豊かな心の育成をめざした交通安全教育の実践		講演会や実技指導を通した交通安全教育の実施				
進路指導	水産科も含め中長期的な視野に立った就職先の開拓		企業開拓のため企業訪問を積極的に実施				
	生徒一人ひとりの適性に合わせたきめ細かな進学指導		教科学科と連携により実力テストのあり方を検討				
人権・同和教育	様々な人権問題について行動化に繋がる啓発活動		生活に根ざした内容でわかりやすく啓発活動を実施				
保健指導	健康診断の充実と事後管理の徹底		未治療者の受診の有無の確認と指導				
特活	部活動	生徒数の増加による部活動の活性化		部活動の加入率をあげる(目標90%)			
	生徒会	生徒に主体性を持たせ、生徒会活動の活性化		生徒自ら行事を再確認し、企画をサポートし活性化			
安全管理	施設設備・情報セキュリティーも対策を勤める		定期的な安全点検と情報ガイドラインの策定				
情報発信	地域や保護者への更なる情報発信に努める		情報発信の回数を増やし、より広報活動の活性化				